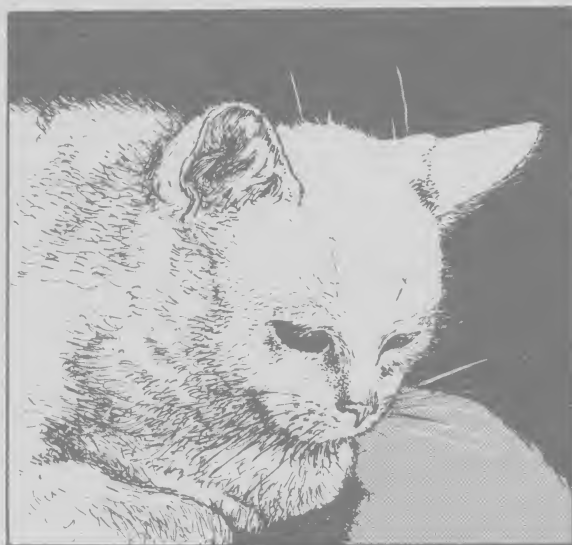
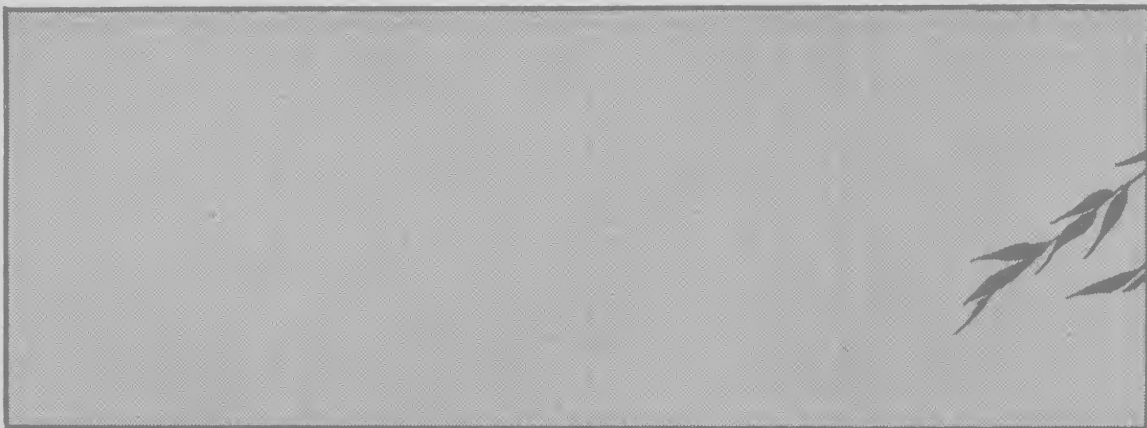
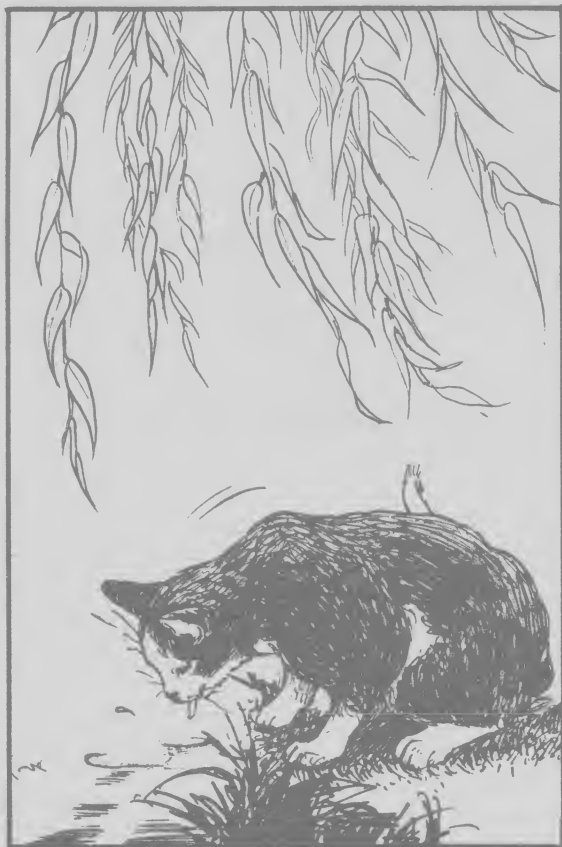


性悪猫



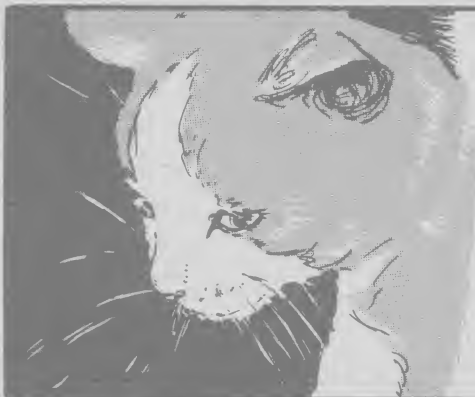
山田紫



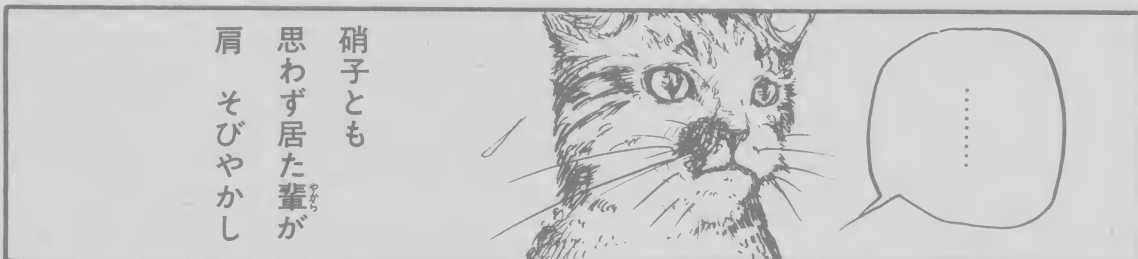




しばらく
じゃあ
ねいか！



きらめかず
おちている
硝子のクズが
風の具合で
きららと
輝る



硝子とも
思わず居た輩が
肩 そびやかし



「あれ硝子がひかる！」と
目をむく



はじめから
比処にあつたにさ



ひからねば目にとめぬ



おまいは
あほさ

あほな おまいにや
なびかぬぞ……。

